八潮市立 八幡中だより

目指す学校像
生徒が輝き、夢や希望を育む学校
学校教育目標
・人を大切にする生徒
・自分の考えを持ち表現できる生徒
・挑戦し続ける生徒
重点目標
３つの基本「時を守り、場を清め、礼を正す」

ホームページ
https://yashio-yawata-jh.edumap.jp

令和６年８月２７日（火）発行
第５号　　在籍生徒３１５名

スポーツから学ぶこと

校長　　市川　真志

今日から新学期がスタートしました。今年の夏は、例年以上に暑い日が続き、部活動も思い通りにできなかったと思います。甲子園の高校野球ですら、昼の時間帯を除いて開催するような気候になってしまいました。熱中症には厳重に注意を払いながら、安全で有意義な部活動を行っていきたいと考えていますので、ご協力をお願いします。

さて、今年の夏休みは、スポーツのイベントが多かったと感じています。過去最多のメダルを獲得したパリオリンピックを始め、甲子園での高校野球、大谷選手大活躍のメジャーリーグなど、話題が豊富なスポーツ界でした。本校でも、学校総合体育大会の県大会で、ハンドボール部・陸上競技部・柔道部などが出場し、見事な活躍を見せてくれました。私自身、皆さんの頑張りと感動の涙に、何度も心を動かされた、最高の夏休みだったと感じています。

スポーツの世界では、多くの場合勝ち負けという結果が存在します。スポーツをやる皆さんは、勝つことを目標に日々努力を重ねる訳ですが、基本的に勝つ人よりも負ける人の方が圧倒的に多いです。単純に考えて、トーナメント戦では半分の学校が１回も勝てずに終わることになります。では、勝てなかった学校の努力は無駄なのでしょうか？そんなはずはありません。「勝利」という一つの目標が達成できなかった、というだけです。スポーツを行う上で、様々な目標を立てて練習してきたと思います。その一つ一つの目標達成の中に、スポーツの大きな意味があると私は考えます。以前の学校だよりで「目的」と「目標」の話を掲載しましたが、スポーツにとって勝ち負けは「目標」であり、「目的」は皆さんの精神的・肉体的成長にあります。その上で、「目標が達成できなかった」という経験も「目的」の達成のために必要な場合もあるのです。

私ごとになりますが、私は50歳を過ぎてから、あるスポーツを始めました。50の手習いですから、当然そう簡単にうまくなる訳がないのですが、上手になりたくて一生懸命練習しました。しかし、全く上手になりません。ある日、卓球をやっている私の息子に「私はセンスがないのかな？」とぼやくと、息子は「スポーツにセンスは関係ない。頑張れば、みんなある程度まではうまくなる。」と言い切るのです。「なるほど」と納得した私は、練習を続けました。その結果、今ではそこそこの成績を残せるようになりましたし、何より楽しく練習できるようになりました。この経験から「諦めなければ必ずできる」と言うことを学びました。

今年の学校総合体育大会でも、いろいろなドラマを伺っています。ケガを押して出場し、残念な結果に終わってしまった人。もう少しで目標を達成できたのに届かなかった人。勝つのが当たり前のように言われプレッシャーの中戦った人。どの戦いにも大きな意味があり、皆さんの「目的」は達成されたと思います。２学期は、体育祭があります。運動が好きな人もそうでない人も、体育祭の「目的」を確認して、全員が成長できるような行事にしていきましょう。